9月議会報告　日本共産党伊勢崎市議団ニュース　2026年秋号

浸水対策の抜本的強化を



水が溢れて避難する人も
出た男井戸川を視察する
日本共産党市議団

７月17日の大雨で、市内各所で浸水被害が出ました。日本共産党市議団は被害にあったお宅を訪問し、現状を聞き取りました。

くり返し浸水被害を受けたお宅は新築以来15年間で８回床下浸水し、１回は床上だったそうです。「家を建てた時には、こんな被害があるとは思わなかった。何とかして欲しい」という声が、どこでも聞かれました。

総合計画で治水対策は重点事業に位置付けられました。同じ地域で浸水被害が繰り返されています。気候変動の中で一層の被害も想定されます。市議団は抜本的な治水対策を求めました。

７月17日　地域ごとの浸水被害状況

地域	床上浸水	床下浸水
境	—	４件
赤堀	５件	１件
あずま	—	３件
伊勢崎（殖蓮）	—	２件
合計	５件	１０件

保護者負担の軽減を

文科省は自治体に「保護者負担を減らすため算数セットや裁縫セットなどの教材を各家庭で購入するのではなく、学校備品として整備するように」と、くり返し求めています。算数セットは３千円程度。小１の1480人分で４４４万円です。「市は予算をつけ備品化すべき」と提案しました。

小・中学校の修学旅行は、約２億円の財源で無償化できます。伊勢崎市の今年度当初予算の0.２パーセントです。修学旅行の無償化は、十分可能です。

保護者負担の平均額（１人当の年額・円）

学年	月例集金	ドリル・テスト代
小１	２２，０００	６，５６０
小３	１８，０００	８，４４０
小６	６１，０００	１０，５２０
中１	７３，０００	—
中３	７３，０００	—

●算数セットは何回も使わないので、学校備品化がありがたいですね！



日本共産党市議団主催環境問題公開研修会

「日本で一番暑いまち・伊勢崎から考える
―地球の未来、今私たちにできること」

11月15日（日）午後２時～４時　市民プラザ第３・第４実習室

講師：西薗大実（にしぞのひろみ）前橋工科大学理事長、環境学影響評価・環境政策専門
伊勢崎市環境部GX推進課職員

市議団ホームページ　www.jcp-isesaki.net/
メールアドレス　sigidan@jcp-isesaki.net